



労働者代表選挙について考えよう! ④

このような形で代表者を選んでいいのでしょうか?
～職場から東京地本へ声が寄せられています～

今年の過半数代表選挙、
立候補たのむよ!



分かりました!
がんばります!

あなたの職場では
このようなことは
起きていませんか?

使用者(会社)から社員へ
立候補を促すことは、
ふさわしくありません!

なぜ、このようなことを会社が行うのでしょうか? 輸送サービス労組は、労働者代表選挙について労働基準監督署や専門家から適切にアドバイスを受けて、公正・公平で誰もが納得できる労働者代表を選出すべきと主張しています。

立候補をするにあたっては、労働者代表を選出する趣旨を理解しなければなりません。36協定の締結や、就業規則等の変更について職場で意見を集約し、それを反映させることが本来の目的であり、労働者側から自発的に選ばれることが大切です。

会社の意を受けた労働者代表では、それらの判断が会社の意に沿ったものとなり、職場の声が正しく伝わらない可能性もあります。だから労働者目線に立った代表者が必要なのです!

あなたの職場では、これまでの選挙はどうだったでしょうか。「労働者側候補 vs 会社側候補」のような選挙になっていませんか? それってそもそも何かおかしくありませんか!?

何のための労働者代表選挙なのか?

誰のための"労働者代表"なのか?

もう一度みんなで考えよう!